

授業展開例（特別活動）

1. 学 年 第1学年

2. 主題名 男女相互の理解と協力

3. ねらい ・家庭や社会において男女相互が尊重し合うことの大切さについて考え、望ましい人間関係を築こうとする意欲と態度を育てる。

【普遍的視点】

他者の理解と尊重，コミュニケーション能力の育成

- ・他者の言葉や意見に耳を傾けながら自分でしっかりと考え、相手を傷つけることなく、自分の言葉で適切に表現できる技術を習得する。自己の個性を見つめ大切にするとともに、他者の個性を理解し、尊重し合うことの大切さについて考え、望ましい人間関係を築こうとする意欲と態度を育てる。

【人権課題】

女性

- ・家庭や社会における男女相互の望ましい人間関係の在り方や男女共同参画社会などについて、幅広く考えていくことができる。
(公民科や家庭科などの既習単元での学習の成果も生かしながら、具体的な場面において自分の言動をどうするべきか、考えをまとめることができる。)

4. 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現
ロールプレイを通して、自分の考えを友達にわかりやすく伝えられるよう工夫するとともに、友達の意見を真剣に受け止め、自分の考えを深めようとする。	女性の労働をめぐる現状について、その背景まで含めて考察し、ロールプレイを通して自分の考えを深めていくことができる。	根拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。 相手を傷つけることなく、自分の言葉で適切に表現でき、円滑な人間関係に資する表現を工夫できる。

5. 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	本時の目標を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気づくりに努める。 ・グループに分かれて、女性の労働をテーマにしたロールプレイを行うことを説明する。 ・二つのロールプレイの内、取り組みやすい方から実施し、時間に余裕があれば、さらにもう一つの課題にも取り組むよう指示する。
展開	<p>ロールプレイ について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手役Bは、たとえ自分の考えと異なっても、Aの考えを非難したりせず、しっかりと受け止める。ただし、Aが仕事をやってみる（または、あきらめる）理由が明確になるための、問い返しは行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な理由が見つからず困っている生徒には、考えるヒントを与える。 ・Aが悩んでいる理由としては、結婚・出産・育児、肉親の介護、恋人（配偶者）の意見、職場内の人間関係、仕事に関する考え方など、多様なものが考えられるが、何を主な理由として会話を展開したかを明確にさせる。 ・Aが男性か女性かで、展開が違ってくるかどうかを考えさせる。違ふと想定する場合も、違ふないと想定する場合も、その理由を明確にさせる。

	<p>ロールプレイ 後の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がなぜ、このように演じたかを説明するとともに、他の人の演技を見てどう感じたかを話し合う。 ・参考資料を基に、現実の場面では会話がどう展開していくと思うか、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「良い」「悪い」という評価にならないように留意する。 ・多様なものの見方、考え方を受け止めさせる。 ・感情論ではなく、具体的な根拠を基に話し合いを展開させる。 ・話し合いの中で、気付き・共感を大切にさせる。 ・自己表現の仕方は、人によってそれぞれ異なるので、それを認めていくことが相互尊重につながることを理解させる。
展 開	<p>ロールプレイ について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CとDが、互いに相手を非難して会話を終える形にならないよう、互いの考えを尊重したロールプレイとなるよう心がける。 ・お互いに、相手の主張の背景を大切に、考えの違いがどうしたら埋まってくかに留意する。その際、個人的要因に加え、社会的要因からも考察していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話が続かずに困っているペアには、考えるヒントを与える。 ・あくまで、ロールプレイ（役割演技）として会話を展開していることを再確認する。 ・お互いに、相手がなぜそのように考えるのかを、個人的要因（個人の結婚観、育児観、就労観、父親観、母親観、両親の意見等）だけにとどまらず、社会的要因（例えば、女性の就労状況、育児に関する状況など）にも視点が向くように、支援する。
	<p>ロールプレイ 後の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人がなぜ、このように演じたかを説明するとともに、他のペアの演技を見てどう感じたかを話し合う。 ・参考資料を基に、現実の場面と照らし合わせて考えさせる。 ・ロールプレイの中で、自分を大切に、相手を大切にすることができていたかどうか、考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CとDのどちらかに「良い」「悪い」という評価をして終わりにならないよう、留意させる。 ・例えば、女性の仕事にパートタイマーが多いことについても、「景気の調整弁にされており就労条件も悪い」という見方がある一方、「自分の都合に見合って仕事量を調整・選択できている」という見方もある。このように、多面的なものの見方・考え方があることに留意する。 ・感情論ではなく、具体的な根拠を基に話し合いを展開させる。 ・話し合いの中で、気付き・共感を大切にさせる。 ・自己表現の仕方は、人によってそれぞれ異なるので、それを認めていくことが相互尊重につながることを理解させる。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や社会における男女相互の望ましい人間関係の在り方や男女共同参画社会について、今後も考え続けることの意義を確認する。 ・お互いに自分らしさを表現できる仲間づくりの重要性を確認し、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な価値観によらず、自己や他者を共感的に見ることの大切さを知らせる。 ・本日のテーマについて、日常生活の中で継続して考えるように伝える。

6. 評価

- ・ロールプレイに主体的に参加し、他者の考えを受容し、自分自身を見つめることができる。
- ・男女相互の望ましい人間関係の在り方や男女共同参画社会に関し、理解を深めることができる。

資料 次の各場面で、あなたならどういう言動をとるか考えましょう。そして、どうしたら相手を傷つけることなく、考えを適切に表現できるかを考えてロールプレイに取り組んでみましょう。(形式張った表現でなく、自分の言葉で相手に伝えることを心がけましょう。)

ロールプレイ

Aさんは、ある大手電気メーカーに勤務しています。最近仕事は軌道にのって、一部門をまかせられるまでになり、大いにやり甲斐を感じています。そんな時、会社の上司がAさんの力量を見込んで、一般職から総合職となるように勤めます。Aさん自身やってみたい気持ちがある一方、残業が今以上に多くなり、転勤も増えることに躊躇する気持ちもあります。Aさんは、なかなか答えが出せず、悩んでいます。Aさんが、何に悩んでいるのかを想像してみましょう。それを踏まえて、ケース1、ケース2のそれぞれについて、Aさんと親友Bさんの会話をつくってみましょう。

Aさんが男性か女性かで、会話に違いがでてくるか考えてみましょう。

ケース1

Aさん：私の新しい仕事の話だけど、やってみることにした。

Bさん：そう。ところで、今日まで随分悩んだみたいだけど、どうして。

Aさん：それは、()

Bさん：今まで以上に忙しくなって、転勤も増えるみたいだけど、大丈夫なの。

Aさん：()

ケース2

Aさん：私の新しい仕事の話だけど、あきらめることにした。

Bさん：そう。ところで、今日まで随分悩んだみたいだけど、どうして。

Aさん：それは、()

Bさん：これまで、あんなにこだわりをもって続けてきた仕事なのに、この結論でいいの。

Aさん：()

ロールプレイ

Cさんは、アパレルメーカーに勤めるファッションデザイナー(女性)です。仕事上の意見のよくあう同僚のDさんと結婚を前提にした交際をしています。そんな時、二人が将来のことを話し合っていて、次のような会話になりました。このあとの二人の会話をつくってみましょう。

Dさん：えー。子どもができて、今までと同じように正社員で仕事を続けるの。

Cさん：そうよ。あなたなら、私の仕事へのこだわり、わかってくれるでしょう。

Dさん：そりゃ、Cの仕事の才能は素晴らしいし、仕事にける情熱も理解しているつもりだよ。

でも、子どもができたら、子育てが一段落するまで仕事を休むか、続けるにしてもパートタイマーぐらいだと思っていたよ。今までと同じというのは無理じゃないかな。

Cさん：()

Dさん：()

Cさん:()
Dさん:()

ロールプレイをしてみて、

自分の意見・思いは適切に表現できましたか。お互いに自分らしさを表現できる人間関係づくりをしていくために、何が大切だと思いましたか。自分はどうしていこうと思いますか。

自分とは、異なる意見を聴いてどう感じましたか。後からの話し合いで、自分の考えを深めていくことができましたか。

「男女共同参画社会」というテーマを、今日の授業を通じて身近に感じることができましたか。授業の感想を含めて、自分の意見をまとめてみましょう。

- * ワークシート以外に授業で用いる参考資料
- 人権教育啓発推進センター 法務省委託 「今、女性の人権は 男女共同参画社会の実現に向けて - 」 平成13年3月発行
 - 広島県 「広島県男女共同参画基本計画 いっしょにあした創り」 平成15年2月発行
 - 広島県 『「人権」って、なんだろう』 平成15年11月発行